

三田市 御中

三田市総合文化センター
令和6年度 事業報告書

令和7年4月

三田市総合文化センター指定管理者

JTBコミュニケーションデザイングループ

令和6年度 三田市総合文化センター 事業報告書

目 次

1. 事業の概要	P 2
2. 文化振興事業に関する業務	P 4
3. 施設の運営に関する業務	P 1 1
4. 施設及び設備の維持管理に関する業務	P 1 1
5. その他業務	P 1 2
6. 施設利用状況表	P 1 3
7. 収支報告書	P 1 4
※ 別紙資料	
・文化振興事業実績一覧表	
・利用料金収入、その他収入一覧表	
・工事修繕費一覧表	

1. 事業の概要

JTBコミュニケーションデザイングループ（株式会社JTBコミュニケーションデザイン・日本管財株式会社・大林ファシリティーズ株式会社・神戸国際ステージサービス株式会社）は三田市より、三田市総合文化センター指定管理者として指定を受け、「三田市総合文化センター指定管理者基本協定書」および「三田市総合文化センター令和6年度事業計画書」に基づき、施設管理運営業務を行った。新型コロナウイルス感染症が5類に移行後1年が経過したが、施設利用や来館者の回復にあわせた、安心・安全を保つ適切な施設管理やサービス提供、自主事業の運営によりホールの付加価値向上や地域文化振興貢献への取り組みを行った。

文化振興事業では、ホール基本理念「集い・生まれ・育つ」それぞれのプロセスを支える事業運営を目指し、各文化振興事業の展開を図った。

市の事業である「市民文化祭」、「三田市美術展」の事務局として、市民や地域文化団体との協働を通じた三田市の文化振興活性化に寄与することができた。自主事業は、年度当初の計画をほぼ実行でき、恒例の公演に加えて、映像・香りも体感できる新感覚コンサートの「cicada」や、ウクライナのバレエ団によるバレエ鑑賞だけでなくレッスンやリハーサルも見学できる「キークラシックバレエ」など新たな公演を開催できた。「青少年育成事業」や「親子鑑賞・参加型事業」として、三田を代表する合唱団である三田少年少女合唱団への活動支援として、「三田国際ジュニア合唱祭」の開催協力を行い、次代の地域文化を担う若い世代の市民による三田らしい文化芸術の創造と発信に貢献した。また、ホール主催対象公演に申込み制による生徒・児童無料招待枠（さとのねスクールシート）を継続し、市内在住の子供たちの舞台芸術鑑賞機会の拡充を図った。

市民地域団体との協働については、「吹奏楽フェスティバル」を三田市吹奏楽連盟と共催し実施支援を行った。また、三田市文化協会と意見交換の場を設けるなど今後の企画協働にむけての調整を継続的に図っている。

情報発信では、紙媒体の利用とオンラインによる情報発信のハイブリッド型で展開した。状況や用途に応じて情報発信の方法を使い分けることによって、より効果的に利用者へ情報を提供するとともに、経費の抑制にもつながっている。また、既存の Facebook や Twitter、Instagram、YouTube の有効活用に加え、三田市周辺エリアの地域情報に特化した WEB メディア「さんだびより」での告知展開も実施した。

サービス満足度、付加価値向上についての取り組みとして、直接、市民や利用者の声を伺う意見交換会「さとのねラウンドテーブル」や、三田市文化協会との情報交換会を実施した。

地域社会の一員としてのサステイナブルな取り組みとして、「発達障がいなど支援を必要とする子供とその家族」が「健常児たち」とともに楽しめる絵本オペラや音楽ワークショップを開催し、施設の定例催事として定着しつつある。

また、新たな取組みとして、弊社プロジェクトである「こころ羽（は）プロジェクト」は、経済的問題を抱える家庭の増加やコロナ等の影響による学校行事の縮小によって、子供たちの体験格差が広がった背景から立ち上げ、文化芸術に触れる機会が不足している子どもたちと家族を対象とし、ご家族を公演に無料招待するなど子供たちの「Well-being（幸福感）の向上」を目指すとともに、文化芸術振興の役割を果たし施設の価値・認知を高めるプロジェクトを2公演で実施した。（計80名を無料ご招待）

利便性向上の取組みとして検討してきたオンライン決済については、他施設での利用実績や利便性・価格等を参照し、導入機種を選定を行い、現金過不足のリスクの少ない自動釣銭機と合わせて導入した。

ボランティア活動は、フロントスタッフ「さとのねサポーター」や美術展運営スタッフ「カルチャーサポーター」に市指定事業、自主事業で活躍いただいた。

収支および経営面では、利用料金収入については、利用件数は増加したが利用者の単価が下がり、令和5年度比96.9%となった。経費においても、光熱水費の電気及びガス代が高騰し、政府が実施する電気・ガス代の負担軽減策「電気・ガス価格激変緩和対策事業」適用も縮小のため、前年度比109.9%となった（予算比114.2%）

施設の利用状況については、稼働率が大ホール44.4%（前年比92.1%）、小ホール70.2%（前年比96.9%）と前年を下回った。施設全体では、稼働率（利用日数／利用可能日数）は55.9%で前年を上回り、ワーキングブースの利用件数増加に伴い5,470件（前年比102.2%）となった。一方、年間来場者数は約14万人で、昨年度より約2万人の大幅減となった。

施設管理業務においては、常に安全性と利便性、快適性を良好な状態で維持すべく適切な施設管理に努めた。また、館内を清潔に開館当時の状態を可能な限り維持することに努め、市民の財産を守る意識を職員全体で共有している。ただ、経年劣化による設備の不具合の発生が多く見られ、重要性に合わせた修繕対応を実施した。結果、年間を通じて大きな事故やトラブルもなく、市民の皆様に快適で安全に施設をご利用いただけた。

2. 文化振興事業に関する業務（通年）

（1）市が指定する事業

① 三田市民文化祭

多くの市民が参加できる文化祭を目指し、文化祭期間中の館内共有エリアでの展示や、体験ワークショップ、バンド部門の設定、少人数でも出演できるコーナーなど昨年からの取り組みも好評で新規参加者も増え、来場者からも評価いただけた。

② 三田市美術展

出品数は201点で昨年度より減少（前年比84.8%）し、来場者数も705名で昨年度より大幅減少（前年比75.4%）したが、三田市からの出展者数は137%と増加し、市内での芸術への関心を引き寄せる機会となったと考える。運営委員については、引き受けてくれる方が少なく、また高齢化が進む中で、運営の継続が難しくなってきたと実感している。一方、オンライン申込の利用者は、利用率76.6%で（昨年57.0%）昨年を大きく上回ったため、効率運営に向け、近い将来はオンライン申込のみとする方向で検討したい。

③ シティ・フレッシュコンサート

三田市の音楽文化創造と音楽活動にかかわる人材の交流の機会として、三田市にゆかりのある、または三田市近郊で活動する新人音楽家によるコンサートを三田市音楽協会の協力のもと開催した。

他に、三田市との連携事業として「さんだ生涯学習カレッジ文化鑑賞会」に対応する公演に「cicada」「音楽でおでかけミュージアム」「ランチタイム コンサート」「レジデンシャルアーティストスペシャルコンサート」「さとのね寄席」「キーウ・クラシックバレエ」「The 邦楽」を設定し、市の進める高齢者生涯教育への取り組みにも関わることができた。

（2）自主事業

① 鑑賞事業

市文化芸術ビジョンの基本テーマ『ともに「する・みる・ささえる・つたえる」～日常に文化がある、まちづくり～』に沿うべく、郷の音ホールに相応しい三田ゆかりのアーティストや市民団体と連携した事業を中心に文化事業を展開してきた。また、収支面においては、助成金事業や共催事業による開催、入場料金の見直し、情報発信方法の検討等により支出減・収入増を図るとともに、品質を保ちながら効率的な文化事業企画推進を図った。

クラシック系の公演では、兵庫県立芸術文化センター芸術監督プロデュースオペラ関連企画『「プッチーニ作曲 歌劇 蝶々夫人」ハイライトコンサート』を質の高い鑑賞事業企画を提供することができた。また、海外美術館の著名作品の映像と地元アーティストの演奏を融合した「音楽でおでかけミュージアム」や映像・香りも体感できる新感覚コンサートの「cicada」、ウクライナのバレエ団によるバレエ鑑賞だけではなくレッスンやリハーサルも見学できる「キーウ・クラシックバレエ」など新たな公演を開催できた。第6期レジデンシャルアーティストによる「お披露目コンサート」「ニューイヤー・コンサート」などを開催した。

その他の音楽系公演としては、ランチタイムコンサート（2回）、邦楽（箏&三味線）、著名な稲垣潤一の公演など多彩なジャンルの音楽を提供できた。

エンターテイメント公演では、「よしもとお笑いライブ」、三田市ゆかりの落語家による「さとのね寄席」、大ブレイク中の「桂二葉独演会」のほか、テレビ番組でもおなじみの ほしいけんた・坂本冬休み の「爆笑！ものまねライブ」を行った。また、映画「ある男」では鑑賞事業で実施した「cicada」が登場人物の心の揺れ動きを強く印象づける劇伴音楽を務めた。

② 親子鑑賞・参加型事業

親子が一緒に楽しめる鑑賞事業としてシリーズ化している「キッズシアター」の開催に合わせて、発達障害などの障害を持つ子どもとその家族の劇場鑑賞体験として「チャレンジファミリーシアター」を2回設定した。2回目はキッズシアター、チャレンジファミリーシアターの区別をなくし障がいを持つ子どもそうでない子ども、ともに鑑賞出来る場とした。

また、「さとのね音楽ワークショップ（キッズチャレンジコンサート）」、発達がゆっくりな小学生、支援を必要とする小学生を対象に、元NHKの歌のお兄さんや奏者を講師とし5回のワークショップと最終日にはプロの演奏家とコンサートに出演する企画で、直に音楽とふれあいながらひととのコミュニケーションや自分を表現することを楽しみにする機会を提供した。

そのほか公演として、世界的ベストセラーの児童文学作品である「エルマーとりゅう」の人形劇や18ヵ月までのベイビーのための「ベイビーシアターKUUKI」公演にも取り組んだ。

参加型事業では、三田市在住の俳優プロデュースによる演劇ワークショップのほか、色紙・毛糸などを使って自分だけのお弁当を作るアートワークショップやバックステージツアーやフルートワークショップなどを行った。さらに、施設保有のスタインウェイピアノを体験試奏できる企画は好評で年2回開催したことに加え、三田市民が優先申し込みできるよう先行予約受付を行った。

③ 青少年鑑賞事業

アウトリーチ活動（出張コンサート）は、市内小学校の全20校で実施した。活動のための研修会を受講したレジデンシャルアーティストを起用することで、ホールの持つ人的ネットワークやコーディネート力の発揮、地域の文化人材活用、地域の芸術普及においても大きく成果を残すことができた。また、地域創造とタイアップした邦楽活性化事業の一環として邦楽のアウトリーチを小学校（2校）のほか市内福祉施設（2か所）で実施した。その他、落語を希望する小学校（1校）もあり、三田ゆかりの落語家が訪問しアウトリーチ活動を行った。

青少年の国際交流や音楽活動の支援のため三田国際ジュニア合唱祭や吹奏楽フェスティバルを共催事業としたほか、小学生から高校生を無料招待（さとのねスクールシート）を設定し、青少年の芸術鑑賞の機会を創出した。（全315席：オペラハイライト20、cicada18、レジデンシャルアーティストコンサート30、キーウ・クラシックバレエ50、邦楽25、ニューイヤー50、エルマー122）。また、トライやるウィークでは、三田市立中学校6校（28名）の他、神戸市立中学校2校（17名）、西宮市立中学校1校（8名）からも受け入れた。

④ ボランティア育成・ホール活性化事業

既存の「さとのねサポーター（フロント）」や「カルチャーサポーター（美術展運営）」は、鑑賞事業や美術展の運営で地域芸術文化を支える市民として活躍いただいた。

また、ホールの機能を常にアップデートしていくため、市民との意見交換会の場「さとのねラウンドテーブル」を令和6年3月に開催した。「郷の音ホールでやってみたいこと」をテーマに、高校生や大学生から自由な発想の意見をいただき、令和6年度にはそのアイデアを事業化し、三田市内高校生による「探究発表会」を実施した。当発表会は、5月から市内6校の2年生が集まり、月1回のミーティングを行い、高校生主導による発表会が実現できた。また発表会だけでなくポスターセッション、ワークショップなど次年度に繋げる事業となった。

その他、郷の音ホールの認知度アップと来館促進として、さんだまち博のプログラムにも参画した。施設のガラスに絵を描くプログラムで施設を華やかに彩った。また、「さとのねイラストコンテスト」を実施し、入賞作品を三田市美術展に合わせて市民ギャラリーに展示するなど相乗効果によるホール活性化を図った。

(3) 情報関連事業

情報関連事業として、ホール情報紙「Sato-Net」の発行のほか、市内公共施設へのチラシ、ポスターの配布、ニュースリリースの発行、地域情報紙への広告出稿、メディア連携による催事PR、地域WEBメディアでの告知、また、オフィシャルホームページの運営、SNSを通じた施設情報や文化情報の発信を行った。SNSについては、Facebook、Twitter、LINE、InstagramとYouTubeを実施している。

三田市ゆかりのプロの芸術家と市民を繋ぐアーティストバンクは19名の登録となっている。これらのサービスの認知度強化と活用促進が今後の課題である。

令和6年度 文化振興事業実施概要一覧

(詳細は実績表参照)

(1) 市が指定する事業

実施事業名	実施日	会場	入場・参加 (延人数)
第35回シティ・フレッシュコンサート	令和6年4月7日	小ホール	出演 14名 観客 199名
第57回 三田市民文化祭	令和6年 11月1日～3日、 9日、10日	全館	出展・出演 1,152名 観覧 2,332名
第45回 三田市美術展	令和7年 1月28日～2月2日	展示室・WB 会議室・AS	出展201名 観覧705名
【市が指定する事業 計 3事業】			4,603名

(2) 自主事業

実施事業名	実施日	会場	入場・参加 (延人数)
① 鑑賞事業			
オペラハイライトコンサート	令和6年5月3日	小ホール	429名
さとのねシネマ vol.49 「ある男」	令和6年5月10日 2回上映	小ホール	①164名 ②128名
よしもとお笑いライブ in 三田 (共催)	令和6年5月12日 2回公演	大ホール	①949名 ②853名
Cicada Japan Tour 2024	令和6年6月8日	小ホール	122名
音楽でおでかけミュージアム vol.3	令和6年7月7日	小ホール	243名
SATONONE ランチタイム・コンサート vol.23	令和6年7月19日	小ホール	93名
SATONONE レジデンシャルアーティスト スペシャルコンサート	令和6年9月8日	小ホール	153名
第十四回 さとのね寄席 桂三語 十五周年	令和6年9月29日	小ホール	223名

実施事業名	実施日	会場	入場・参加 (延人数)
キーウ・クラシック・バレエ チャイコフスキー夢の3大バレエ～名場面集～	令和6年11月24日	大ホール	786名
THE 邦楽	令和6年11月30日	小ホール	108名
SATONONE ランチタイム・コンサート vol.24	令和6年12月5日	小ホール	86名
SATONONE レジデンシャルアーティスト ニューイヤーコンサート2025	令和7年1月5日	小ホール	173名
ほいけんた・坂本冬休み 爆笑！ものまねライブ2025 in 三田（共催）	令和7年2月8日	大ホール	448名
稲垣潤一コンサート2025（共催）	令和7年3月1日	大ホール	778名
エルマーとりゅう ～カナリア島のぼうけん～	令和7年3月22日	大ホール	426名
桂二葉 独演会（共催）	令和7年3月29日	小ホール	353名
② 親子鑑賞・参加型事業			
郷の音ホールでスタインウェイを弾いてみよう ～夏～	令和6年 7月25日、26日、29日	小ホール	74名
①さとのねキッズシアターvol.23 ②さとのねチャレンジファミリーシアターvol.5 『絵本オペラカンパニー おぺろん』	令和6年7月27日	AS	①62名 ②36名
さとのね音楽ワークショップ	令和6年8月8日、22日 9月15日 10月14日、27日 11月3日	練習室	5名
発表会&コンサート	令和6年11月3日	小ホール	145名
さとのねアートワークショップ 「つくってみよう！かわいいお弁当」	令和6年8月18日 2回開催	展示室	① 69名 ② 49名
夏休みバックステージツアー『さとのね探検隊』	令和6年8月22日 2回開催	大ホール	①23名 ②16名

実施事業名	実施日	会場	入場・参加 (延人数)
さとのね演劇ワークショップ 演劇でホップ！ステップ！！ジャンプ!!!	令和6年 9月7日、14日、21日、 28日、10月6日	AS	WS 19名 発表会 59名
おっきな窓ガラスに でっかく絵を描こう！&消そう！！	令和6年9月22日、 10月12日	屋外敷地	20名
第4回 さとのねイラストコンテスト ～郷の音ホールを描いてみよう～	【募集】 令和6年12月9日～ 令和7年1月11日 【展示】 令和7年1月18日～ 2月10日	市民ギャラ リー	応募数 18
郷の音ホールでスタインウェイを弾いてみよう ～冬～	令和6年 12月24日、26日、27日	小ホール	58名
さとのね音楽ワークショップ 『わくわくフルーツ初たいけん！』	令和7年1月5日、26日 2月16日、24日 3月2日	大ホール	58名
ベイビーシアター KUUKI	令和7年1月14日	小ホール	①28名 ②27名
③ 青少年芸術鑑賞事業			
三田フルーツフェスティバル 2024（共催）	令和6年4月29日	大ホール	506名
三田国際ジュニア合唱祭（共催）	令和6年8月6日	小ホール	258名
アウトリーチランスルー	令和6年9月20日	小ホール	10名
アウトリーチ学校訪問コンサート	令和6年9月10日～ 12月19日 全20校	市内小学校	1249名
三田市高校生企画 探究発表	令和7年1月25日	大ホール 展示室 会議室	682名

実施事業名	実施日	会場	入場・参加 (延人数)
第43回吹奏楽フェスティバル(共催)	令和7年3月23日	大ホール	828名
④ボランティア育成・ホール活性化事業			
市民・利用者意見交換会 さとのねラウンドテーブル vol.17	令和6年7月30日	ワーキングブース	13名
いけばなコーナー・ミニギャラリー 市民ギャラリー・中庭ギャラリー	通年	1階	—
フロントスタッフ「さとのねサポーター」	随時	ホール	—
美術展運営「カルチャーサポーター」	令和7年1月、2月	全館	—
⑤情報発信事業			
オンライン情報発信事業 YouTube公式チャンネル運営	随時	—	—
施設情報紙「Sato-Net」作成・発行	年4回発行	—	—
ホームページ運用・SNSによる情報発信	随時	—	—
チラシ、ポスター、ニュースリリース等の作成提供	随時	—	—
文化情報コーナー 各種資料・情報掲示、配架	通年	文化情報 コーナー	—

3. 施設の運営に関する業務

①施設の提供

- ア) 開館時間・受付時間：午前9時～午後10時
- イ) 休館日：毎週水曜日（臨時開館および臨時休館日除く）

②施設利用に関する相談、交流、情報提供

- ア) ホームページ、パンフレット、チラシ、SNS、機関紙等の作成・提供
- イ) その他各種印刷物の作成、及び市広報誌など各種メディアへの情報提供
- ウ) 施設利用に関する相談業務全般

③舞台設備等の準備、操作、復帰及び日常の保守点検等の舞台運用の実施

④文化情報コーナーの運営（図書・音源・映像資料の提供、文化関連情報の更新・提供）

⑤友の会「Sato-Net くらぶ」運営業務

郷の音ホール友の会「Sato-Netくらぶ」	会員数(更新含む)
令和6年度(年度末時点の会員数)	833名（前年911名）

⑥喫茶コーナーの管理運営

喫茶コーナー「カフェ ステラ」運営・利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
来店者数(人)	791	633	621	600	776	636
売上金額(円)	598,464	472,586	564,042	447,422	563,566	467,746

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来店者数(人)	623	883	673	482	667	819	8,204
売上金額(円)	599,615	647,638	587,771	456,962	637,306	683,710	6,726,828

※参考 前年来店者数 8,254人 売上金額 6,809,688円

⑦ギャラリーの有効な活用

市民ギャラリーの貸出のほか、ミニギャラリーでの市内作家の作品紹介などを行った。

4. 施設及び設備の維持管理に関する業務

①業務内容

「施設及び設備の維持管理基準書」を基準に下記の業務を行った。尚、三田市及び指定管理者にて協議の上、仕様等を変更した項目については、その限りではない。

- ア) 建築物保守管理業務
- イ) 建築設備保守管理業務（定期点検・保守及び運転監視・日常点検）
- ウ) 舞台機構、舞台設備保守管理業務
- エ) 清掃業務
- オ) 駐車管制設備の保守管理及び利用料金の徴収
- カ) 備品・消耗品の保守管理
- キ) 環境衛生管理業務

- ク) 工事及び修繕等業務
- ケ) 植栽管理業務
- コ) 保安警備業務

5. その他業務

- ①事業計画書及び収支予算書の作成
- ②事業報告書の作成
 - ア) 業務日報
 - イ) 業務月報
 - ウ) 四半期総括書
 - エ) 年度末事業報告書
- ③関連機関との連絡調整
 - ア) 市等関係機関との連絡調整会議の開催
 - イ) 関係機関との連絡調整
- ④緊急時対策、防犯、防災対策等のマニュアル作成、指導及び各種訓練・研修
- ⑤その他日常業務の調整

6. 施設利用状況表（施設利用件数、稼働日数、稼働率、利用人数）

施設名称	利用件数 (件)	前年件数 (件)	対前年比 (%)	稼働日数 (日)	稼働率 (%)	前年稼働 率	利用人数 (人)
1 大ホール（楽屋含む）	152	173	87.9%	140	44.4%	48.3%	48,000
2 小ホール（楽屋含む）	259	257	100.8%	221	70.2%	72.4%	24,227
3 展示室	148	165	89.7%	144	45.7%	50.8%	8,428
4 リハーサル室（アクトスクエア）	756	734	103.0%	311	98.7%	97.5%	20,414
5 練習室1	743	759	97.9%	305	96.8%	94.9%	2,671
6 練習室2	1,203	1,088	110.6%	315	100.0%	99.0%	1,966
7 練習室3	1,198	1,325	90.4%	313	99.4%	99.7%	2,733
8 録音室	0	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	0
9 会議室1	185	182	101.6%	163	51.7%	52.4%	4,333
10 会議室2	216	211	102.4%	193	61.3%	63.8%	4,150
11 会議室3	181	150	120.7%	163	51.7%	44.8%	1,524
12 和室1	43	44	97.7%	43	13.7%	13.7%	1,049
13 和室2	99	89	111.2%	90	28.6%	26.7%	
14 ワーキングブース	263	147	178.9%	218	69.2%	44.4%	5,116
15 託児室	24	26	92.3%	24	7.6%	8.3%	82
16 窓口							6,518
17 文化情報コーナー							341
18 館内							7,426
合計（平均）	5,470	5,350	99.0%	2,643	55.9%	54.4%	138,978

※年間開館日数：315日

7. 収支状況

三田市総合文化センター 令和6年度年間収支報告書

(単位：円/税込)

項目	年間予算	実績	執行率	明細
収 入				
指定管理料	189,954,000	189,954,000	100%	
利用料金	40,000,000	47,506,690	119%	
事業収入	14,440,000	8,982,353	62%	チケット販売収入、友の会会費等
助成金、協賛金	0	2,083,250	-	
その他	18,700,000	19,779,333	106%	駐車場収入、雑収入
合 計	263,094,000	268,305,626	102%	
支 出				
職員人件費	57,024,000	57,102,155	100%	職員人件費・事務費内訳表
事務費	9,990,200	9,502,404	95%	賃借料、広告宣伝費、通信費、旅費交通費、保険料等
文化振興事業費	26,440,000	19,950,732	75%	出演料、著作権使用料、舞台費、会場利用料等
出演料・委託料等	17,620,000	12,032,004	68%	
会場・舞台費	5,502,000	5,193,499	94%	
その他	3,318,000	2,725,229	82%	
管理費	169,639,800	174,631,461	103%	
ステージ管理費	34,735,800	36,208,700	104%	舞台管理・保守点検、非常勤操作要員費
施設等修繕料	4,000,000	4,045,492	101%	
備品・消耗品費	4,620,000	2,020,437	44%	
設備保守管理費	88,283,778	88,925,993	101%	清掃、設備保守管理、警備費
光熱水費	38,000,222	43,430,839	114%	
合 計	263,094,000	261,186,752	99%	
収支（収入－支出）	0	7,118,874	-	

三田市総合文化センター 令和6年度（年度末清算・修正分）収支報告書

(単位：円/税込)

項目	年間予算	3月度月次累計実績	年度末精算・修正額	実績	執行率	明細
収 入						
指定管理料	189,954,000	189,954,000	0	189,954,000	100%	
利用料金	40,000,000	47,506,690	0	47,506,690	119%	
事業収入	14,440,000	8,977,030	5,323	8,982,353	62%	助成金清算分
助成金、協賛金	0	2,118,573	-35,323	2,083,250	-	助成金確定後清算分
その他	18,700,000	19,779,333	0	19,779,333	106%	駐車場収入、雑収入
合 計	263,094,000	268,335,626	-30,000	268,305,626	102%	
支 出						
職員人件費	57,024,000	57,102,155	0	57,102,155	100%	職員人件費・事務費内訳表
事務費	9,990,200	7,315,524	2,186,880	9,502,404	95%	チケット販売管理システム 決済機能改修分 PC機器リース料一括
文化振興事業費	26,440,000	22,035,758	-2,085,026	19,950,732	75%	事業費修正
出演料・委託料等	17,620,000	12,482,868	-450,864	12,032,004	68%	助成金確定後清算分
会場・舞台費	5,502,000	6,630,049	-1,436,550	5,193,499	94%	
その他	3,318,000	2,922,841	-197,612	2,725,229	82%	
管理費	169,639,800	175,709,461	-1,078,000	174,631,461	103%	
ステージ管理費	34,735,800	36,208,700	0	36,208,700	104%	舞台管理・保守点検 非常勤操作要員費
施設等修繕料	4,000,000	5,123,492	-1,078,000	4,045,492	101%	チケット販売管理システム 決済機能改修分
備品・消耗品費	4,620,000	2,020,437	0	2,020,437	44%	
設備保守管理費	88,283,778	88,925,993	0	88,925,993	101%	
光熱水費	38,000,222	43,430,839	0	43,430,839	114%	
合 計	263,094,000	262,162,898	-976,146	261,186,752	99%	
収支（収入－支出）	0	6,172,728	946,146	7,118,874	-	